

**事例 2 「聞くこと」から段階的に「話すこと [やり取り]」につなげることをねらった事例**

- 学年 第4学年
- 主な領域 「聞くこと」、「話すこと [やり取り]」
- 事例のポイント
  - ①慣れ親しみやすい英語の歌を「聞くこと」を通して、児童に英語を身近に感じさせるようにする。
  - ②アルファベットの小文字に興味・関心をもたせ、慣れ親しませるために、児童が思わず英語を使いたくなるような場面設定の工夫をする。
  - ③評価に客観性を持たせるために、本時の目標と評価規準を一体化させた振り返りカードを作成する。
  - ④デジタル教材を活用して本時のまとめを行うことで、より児童にアルファベットの小文字を認識できるようにさせたり、慣れ親しませたりする。

1 単元名 Let's Try! 2 Unit6 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう

2 単元について 省略

3 児童の実態について 省略

4 単元の目標

既習の単語や絵カードを活用してアルファベットの小文字を認識したり、既習表現を使ってアルファベットについてたずねたりしながら、アルファベットの小文字に慣れ親しむ。

- ・身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気づき、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。 〈知識及び技能〉
- ・「身の回りにあるアルファベットクイズ」をするために、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達と互いの考えを伝え合う。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・「身の回りにあるアルファベットクイズ」をするために、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分や相手の考えなどを伝え合おうとする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと 聞	①身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付いたり、What's this? It's a(.). Try again. Do you have ( )? I have ( ). That's right. などの既習表現等を聞くことに慣れ親しんだりしている。		
話すこと「やり取り」 や	①What's this? It's a(.). Try again. Do you have ( )? I have ( ). That's right. など既習表現等を用いたりして、アルファベットについて尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	①「身の回りにあるアルファベットクイズ」をするために、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分や相手の考えなどを伝え合っている。	①「身の回りにあるアルファベットクイズ」をするために、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分や相手の考えなどを伝え合おうとしている。

6 単元計画（4時間扱い）

時	◆目標・○活動	評価			
		知・技	思・判・表	態	
1	<p>◆身の回りにはアルファベットの文字がたくさんあることに気付き、小文字の読み方を知る。</p> <p>○Small Talk 「看板の標示」</p> <p>○【Let's Sing, Let's Chant】</p> <p>○【Let's Watch and Think】</p> <p>○【Let's Play1】 誌面にある街のイラストからアルファベットを探し、発表する。</p> <p>○【Let's Play2】 おはじきゲーム</p> <p>○振り返りカードの記入</p>				<p>◎評価規準（評価方法）</p> <p>◎評価規準（評価方法）</p> <p>※本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。</p>
	<p>事例ポイント① ABC song は、第3学年で既習済みのため、歌いやすい。</p>				<p>編 P181 指導計画作成の留意事項(6)</p>
2	<p>◆アルファベットの小文字の読み方に慣れ親しむ。</p> <p>○Small Talk 「看板の標示」</p> <p>○【Let's Sing, Let's Chant】</p> <p>○【Let's Listen】</p> <p>○【Activity 1】 P22, 23 のイラストから自分の好きな看板や表示を選びペアでクイズを行う。</p> <p>○振り返りカードの記入</p>			聞	<p>◎身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付いたり、What's this? It's a(). Try again. Do you have ()? I have (). That's right.などの既習表現等を聞くことに慣れ親しんだりしている。</p> <p>&lt;行動観察&gt;</p>
	<p>事例ポイント② Activity1 では何度も繰り返しくイズを行うことで、やり取りに必要な表現や、アルファベットの小文字に慣れ親しむことができる。</p>				
3	<p>◆アルファベットクイズについて尋ねたり答えたりするとともに、小文字の読み方に慣れ親しむ。</p> <p>○歌（新しい歌 Color song）</p> <p>○Small Talk 「好きな色」</p> <p>○【Activity 2】好きな色を当てよう 好きな色ペアで尋ね合い、色をあてる。</p> <p>○色取り合戦！ ～Let's get "Color" !～ 【Activity 2】や Color song の（11色）カラーカードを使って、相手が選んだ色をあてる活動を行う。</p> <p>○振り返りカードの記入</p>			や	<p>◎What's this? It's a(). Try again. Do you have ()? I have (). That's right. など既習表現等を用いたりして、文字を読んだり話したりすることに慣れ親しんでいる。</p> <p>&lt;行動観察&gt;</p>
	<p>事例ポイント① 簡単な旋律のため、英語でも歌える、歌いたいと思わせることができる。</p>				<p>事例ポイント② 児童がたくさん発話したくなるような場面設定を行う。</p>

4	<p>◆アルファベットに慣れ親しむために、アルファベットクイズについて尋ねたり答えたりする。</p> <p>○歌 (Color song) または【Let's Sing, Let's Chant】</p> <p>○Small Talk 「自分の名前のアルファベット」</p> <p>○第2弾！アルファベットクイズ大会 ～What's this card?～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4人1グループで行う。</li> <li>埼玉県や市町村にある道路標識や、ゲームソフト名、雑誌など、身近な物の英語表記されたカードを読み手と取り手に分かれて行う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>事例ポイント② 日常生活で目に触れるものを使い、アルファベットの小文字をより身近に感じさせることで慣れ親しませたり、学習意欲の向上につなげたりする。</p> </div> <p>○振り返りカードの記入</p>		<p>◎「身の回りにあるアルファベット文字クイズ」をするために、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分や相手の考えなどを伝え合っている。〈行動観察〉</p> <p>◎「身の回りにあるアルファベット文字クイズ」をするために、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分や相手の考えなどを伝え合おうとしている。〈行動観察・振り返りカード〉</p>
---	--	--	--

編 P181 指導計画作成の留意事項(3)

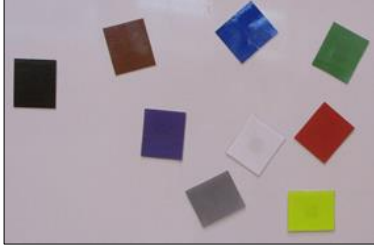

や や

### 7 本時の展開

目標 ・アルファベットクイズについて尋ねたり答えたりするとともに、小文字の読み方に慣れ親しむ。

準備 デジタル教材・・・デ教、絵カード・・・絵カ、児童用テキスト・・・テキスト、ホワイトボード・・・ボード、振り返りカード・・・振カ、色カード・・・色カ、おはじき・・・おはじき、

○本時の展開 (3 / 4)

時間	○児童の活動	・指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	<p>○挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちや曜日、日付、天気を答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体→個別に挨拶をしていく。</li> </ul>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">絵カ</span>
7分	<p>○歌 (Color song)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい歌を歌う。</li> <li>・HRTの言っている歌詞を聞く。</li> <li>・何が聞こえたか答える。</li> <li>・色を表す英語の表現を知り、歌詞で歌を歌う。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい歌を歌うことを知らせる。</li> <li>・色カード (11色) をバラバラにホワイトボードに貼る。</li> <li>・児童が歌の中で聞き取った色を確認する。</li> <li>・児童が聞き取った色を表すアルファベットをホワイトボードに板書する。(色カードとアルファベットが対応するように示す。)</li> </ul> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ボード</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">色カ</span>

<p>Color song  Yellow, orange, yellow, orange,  Purple, green, purple, green,  Red, pink, brown and blue,  Red, pink, brown and blue,  Black, white, gray  Black, white, gray</p>	<p>事例ポイント①  簡単な旋律（グーチョキパーで何つくろう）なため、「英語でも歌える」、「歌いたい」と思わせることができる。  〈児童が親しみやすい英語の歌のポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>聞いたことがある旋律を使う。</li> <li>聞いたことのある単語がたくさん出てくる。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>色とアルファベットがつながるように、単語を指し示しながら歌わせる。</li> <li>聞き取れない箇所は、ALT の口元をよく見させる。</li> <li>本時の活動に繋がる内容であるため、児童と一緒に何度も歌う。</li> </ul>		
3分	<p>○Small Talk  「好きな色を尋ねる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習の好きなものの言い方を想起する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Color song で活用した色カードが貼ってあるホワイトボードを活用する。</li> <li>Small Talk には、途中から児童も会話に参加させる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ボード 色カ</div>
<p>T1 : Look! I have many cards. (ホワイトボードに貼ってあるカードを見せながら)  T2 : Yes! They are color cards. Many colors!  T1 : Right. I have a quiz today! There is my favorite color in them.  What is my favorite color? Please guess.  T2 : O.K, Hmm... You are wearing nice white shirt.  Do you like white? (ホワイトボードの色カードを見ながら)  T1 : No, I don't.  T2 : Hmm, hint please.  T1 : OK. I have a "b".  T2 : Oh, you like blue.  T1 : Yes! ※T2 の好きな色についても同様のやり取りを行う。  (教師のやり取りの後、児童にも好きなカードを選ばせる。)  T2 : Do you have a "p" ?  S : Yes, I have.  T2 : Do you like pink ?  S : Yes !</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>Small Talk の内容を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Small Talk の内容について児童に確認する。  ①T1 及び T2 の好きな色は何だったか。  ②相手の好きな色を聞くときにはどんな言い方をしていたか。</li> </ul>	
10分	<p>○本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>アルファベットで色あてクイズをしよう！</b> </div> <p>○【Activity2】  「好きな色あてクイズ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>やり取りを聞く。〈1回目〉  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">LT2(Let's Try!2) P25</div></li> <li>どのようなヒントを聞いていたか確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Activity2】 のやり取りを聞かせる。  〈1回目〉</li> <li>相手の好きな色を当てるときに、どのようなヒントを聞き出しているかを聞き取るようにポイントを示す。</li> <li>1回目の聞き取り後、相手の好きな色を当てるために、どのようなヒントを聞いていたか確認する。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">デ教 色カ</div>

- ・やり取りを聞く。〈2回目〉

**LT2(Let's Try!2) P25**

- ・ヒントを聞く表現を確認する。

- ・ペア同士で「好きな色あてクイズ」をする。

使用できる表現の例

- ・ What's my favorite color?
- ・ Please guess.
- ・ Do you have a ( ) ?
- ・ Yes, I do./ No, I don't.
- ・ I have a ( ).
- ・ That's right.
- ・ Try again.

- ・ モデルのペアが発表する。

**事例ポイント②**

中間指導では、活動の目的を果たすために、どのような言い方や聞き方をすればよいか、クラス全体に考えさせる機会とする。

〈2回目〉

- ・相手の好きな色を当てるために具体的にどのような表現を使ってヒントを聞いていたかを聞くポイントとして示す。
- ・2回目の聞き取り後、既習の「I have a( ).」「Do you have ( )?」などの表現を使うことを確認する。

S1: What's my favorite color? Please guess.

S2: OK. Do you have a "w"?

S1: No, I don't. I don't have a "w".

S2: Do you have a "p"?

S1: No, I don't. I don't have a "p".

S2: Do you have an "r"?

S1: No, I don't. I don't have an "r"?

S2: Umm, Do you have a "b"?

S2: Yes, I do. I have a "b".

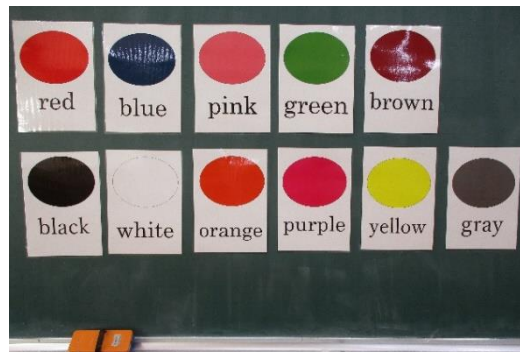
S1: Wow! Do you have an "e"?

S2: Yes, I do. I have an "e".

S1: I got it. "Blue".

S2: That's right. I like blue.

- ・ Color song や【Activity2】で扱った色のカード(アルファベット文字が書かれているもの)を黒板に貼る。



- ・児童に 11 色から自分の好きな色を選ばせる。
- ・指定した色以外の色を児童が使いたいといった場合は、全体で共有し、色カードを可能な限り増やすこともできる。
- ・クイズを通して、目的をもって小文字を見たり、その名称を読んだりすることで、小文字に慣れ親しませる。
- ・クイズのやり取りが上手なペア同士に発表させることで、表現の仕方やよかったところを再度確認する。
- ・中間指導を行い、相手の好きな色を当てるためにはどのように聞くのがよいか考えさせることで児童の思考を深める。
- ・児童の中から出た疑問を解決し、支援をする。

- 再度、相手を変えてペア同士で「好きな色あてクイズ」をする。

Praises Well done!		
Perfect	100点	完璧
Amazing	95点	最高
Excellent	90点	超いいね
Super	85点	いいねえ
Great	80点	いいね
Cool		
Awesome		
Nice	70点	まあいいね
Good	60点	まあまあ
OK	50点	いまいち

- 正解した時や正しく英語で答えられた時などは、互いに称賛の言葉をかけ合うよう声がけをする。
- 相手に称賛の言葉をかけやすいよう、掲示物を用意し、事前に黒板に貼っておく。
- 再度の活動後、相手の色を当てることができたか確認する。
- 児童の活動の様子について、良かった点をフィードバックする。

事例ポイント②

相手への称賛の言葉は、Small Talk や児童の発言、ペア活動時などで繰り返し活用する機会を設ける。

○色取り合戦  
～Let's get "Colors"!～

Let's get "Colors"! (個人戦)

<準備>

- 児童におはじきをもたせる (5個ぐらい)
- 11枚の色カードから1色選ぶ。(テキストに○をつけておく)

<活動内容>

- 友達と互いの選んだ色を当てる活動を行う。
- 前半・後半に分け、質問する側と答える側に分けて活動する。

<活動方法>

- 自分の順番では、1回しか質問できない。
- はずれたら、違う相手のところに並び、質問をする。
- 当たったら相手のおはじきをもらえる。
- 時間内でなるべくたくさんのおはじきを集められるようにする。

※教師は児童のおはじきがなくなった場合の予備を用意しておく。

※おはじきを集めることが目的とならないように、相手に英語で聞いたり答えたりして、相手の選んだ色を当てることが大切であることをしっかりと意識させてから活動を行う。

色カ

テキスト

おはじき

事例ポイント②

おはじきを集めるゲーム性を取り入れることで、たくさんの相手と活動する意欲につながるができる。たくさんの相手と活動をすることで、何度も英語での対話を行い、無理なくアルファベットの小文字に慣れ親しませることができる。

- 活動の説明を聞く。
- 対話のモデルを聞く。

- 活動の説明を行う。
- A L Tとモデルを示して、対話の内容を把握させる。
- 【Activity2】 で使った表現がこの活動でも使われていることに気付かせる。

<p>事例ポイント② ここでの活動では、「○(アルファベット)はあるか」の発話、その質問に対する応答を何度も繰り返す行うことに重点を置く。それ以外の部分についてはできるだけ英語で表現するように伝える。</p>	<p>T1 : Hello. What's my favorite color? Please guess. T2 : OK. Do you have a "b"? T1 : No, I don't. I don't have a "b". T2 : Hum, It's pink. T1 : No, I don't like pink. (はずれたので、違う相手に聞く。) T1 : Hello. What's my favorite color? Please guess. T2 : O.K. Do you have a "g"? T1 : Yes, I do. T2 : I got it. It's green. T1 : That's right! I like green. Here you are. T2 : Thank you. T1,T2 : See you. (途中で児童に聞いてもよい。)</p>	
<p>事例ポイント② 児童の状況に応じて、モデル対話の途中から、児童に質問を投げかけることで、児童の理解を深めていくこともできる。</p>	<p>◎What's this? It's a(). Try again. Do you have ()? I have (). That's right. など既習表現等を用いたりして、文字を読んだり話したりすることに慣れ親しんでいる。【知・技】<input checked="" type="checkbox"/>や (行動観察)</p>	
<p>【評価のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現等を用いて、英語で質問したり、答えたりできたか。</li> <li>友達とやり取りをする中で、小文字を認識することができたか。</li> </ul>		
<p>2分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時のまとめをする。</li> <li>・学習したことを振り返り、ABC Chant を歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動で自分がやり取りしたアルファベットを振り返らせる。</li> <li>・小文字のアルファベットのまとめとしてデジタル教材を用いて、ABC Chant を歌わせる。</li> </ul>	<p>デ教</p>
<p>事例ポイント④ デジタル教材を活用し、ABC Chant を歌うことで、別の方法でアルファベットの小文字の認識を深めたり、より慣れ親しませたりすることにつなげる。</p>		
<p>5分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の活動を振り返る。</li> <li>・振り返りカードに記入する。</li> <li>・自分の振り返りを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の授業で気付いたことや新たに学んだことを自分の言葉で書かせる。</li> <li>・振り返りの内容を学級全体で共有させる。</li> </ul> <p>事例ポイント③ 本時の目標と一体化させた評価基準を示した、振り返りカードを児童に提示する。</p>	<p>振力</p>

〈振り返りカード〉

① 色取り合戦では、英語で友達にしみんしたり、答えたりすることができましたか。



少しはできた



だいたいできた



とてもよくできた

② アルファベットの小文字を使って、楽しくクイズをすることができましたか。



少しはできた



だいたいできた



とてもよくできた

③ 今日の授業で気付いたことや新しく学んだことを書きましょう。

---

---

---

1分

○挨拶をする。

・気持ちよい挨拶で授業を終えられるようにする。